

ウィズ 64回生学年だより「WITH」

～ 共に学び、共に支えあい、共に感動する学年 ～

生徒作文「2年生になって」

はじめて2年生のクラスが分かったとき、私は一緒にクラス発表を見に来た友達と離れてしまいました。自分のクラスを見つけ教室に入っていく友達の姿を見て、私はこれからの学校生活うまくいかなあと不安になりました。しかし、私も覚悟を決めて2年2組の教室へと入っていくと、みんな笑顔いっぱいでお互いに話しかけていて、ポカポカした温かい雰囲気を感じられました。私もいつの間にかドキドキとしていた気持ちはなくなり、これからたくさん頑張ろうと強い気持ちが生まれてきました。その気持ちと共に、私は2年生として一歩を踏み出せたのかもかもしれません。たくさんの想いがある中、2年生として、先輩として、真ん中の学年として、どう行動していかなければならないのか、私は考えました。

たくさん変えていくことがあります。私は2年生として、将来について考えたり、勉強などで工夫してみようと目標を立てました。次に、先輩として後輩のお手本になれるよう、自分の意思をハッキリさせようと決めました。最後に、1年生、3年生の間の学年として、最高学年になる準備をコツコツと進め、1年生を育てていけるように努めようと考えました。3つとも大きな目標で簡単には達成することができないけれど、小さな目標をたくさん立てて、夢を現実にしていこうと思います。(2組)

ぶかぶかの制服で緊張しながら迎えた1年前の入学式。それからあっという間に1年が経った。ぴったりとは言えないが、自分の成長した姿が伺える。1年前より制服姿に馴染んできた。1年生のときは先輩に引っ張ってもらっていたが、後輩が入ってきて、今度は私たちが後輩を引っ張っていく側になった。もちろん、3年生はまだ先輩だが、3年生の支えにもなるような学年になったのだ。その自覚を持ったうえで、2年生として頑張りたい。

2年生になって一番環境が変わると思うのは、部活動だ。これまではどこに行っても一番下の学年で先輩に甘えてしまっていたところもあったが、もうすぐ1年生が入ってきて私たちが先輩という立場になる。今まで先輩が私たちに教えてくださったこと、してくださったことなどを次は私たちがする番だ。例えば、ジョグのときに後輩の間に入ったり、先輩がやっていたら「変わります。」と言って代わらなければいけないということを教えたり、他にもたくさん教えないといけないこと、しないといけないことがある。こう考えてみると、今まで先輩たちが自分たちにやってくださっていたことの多さに気づく。先輩たちみたいにかっこいい先輩になりたいと思った。

2年生になって不安なのは、勉強だ。2年生になると得意な教科と苦手な教科がはっきりしてくると思う。明らかに暗記系が苦手ということがこの1年でわかった。暗記系は勉強すればするほど覚えるものだから、家で学習時間を大切にしようと思う。(4組)

2年生は受験を成功させるために、ゴールの入試合格から逆算して、計画を立てながら、物事を進めていく。そのために、今、自分に何が足りないのか、何をしたら早くゴールに近づけるかなどを考える必要がある。だから、親の力はできるだけ頼らずに自立する。そして、毎日コツコツと勉強していき、定期テスト1週間前でも焦らずに余裕を持ってテストを受けられるようにする。できるだけ疲労はため込まず、睡眠は毎日8時間とり、リフレッシュする時間を設ける。塾の宿題も塾の前日には終わらせるようにする。など1つ1つの行動に計画を立てて過ごす。

サッカーは、今年は特に体力をつけたいので、筋トレを月、水、木にさぼらずに取り組む。毎日、休まず参加して、意識を高くして練習に取り組む。

学校生活では、友達と楽しく過ごせるようにしたいので、積極的に友達に話しかけたり、誘ったりして、楽しい思い出をたくさん作ることもできる。

もう少ししたら、成人して働くことになるので、職業についても調べていきたい。秋のトライやる・ウィークでどんな仕事を体験できるのか楽しみだ。まだ、将来どんな仕事に就きたいか決まっていないけれど、可能性を広げるためにも勉強を頑張って満足のいく結果を出したい。(1組)

2年生になって、僕が感じたことは先輩の偉大さです。なぜ、いま先輩の偉大さを感じたかという、僕たちは2年生になって後輩ができました。しかし、僕は後輩とコミュニケーションを取ることができません。でも、先輩たちは、コミュニケーションを取っています。だから僕は、先輩にあって僕には無いものを考えました。それは「笑顔」です。いつも笑顔なのはなぜなのか考えました。理由は3つあると分かりました。1つは、すべての事に全力で行動しているからだと思います。全力でするからこそ、達成感によって笑顔がこぼれていると思います。2つ目は、相手のことを理解しているからだだと思います。先輩は、同級生、後輩関係なく、相手の事を理解しようとお互いに思っていると考えました。コミュニケーションは一方向的にするものではなく、協同的にすることだということ学びました。3つ目は、探求心を忘れず、常に学ぼうとする姿勢です。これがあれば、物事を深く追求できないと思います。つまり、僕が今、足りていないことは、探求心を忘れず、全力で取り組む姿勢です。だから、これからは、先輩の行動を学んで、後輩とコミュニケーションを取れるようにします。(2組)



まだ2年生になったという感覚がありません。たまに学年・クラス・出席番号を1年生のときのものを書いてしまいます。

私は、2年生が中学校生活の中で一番大事だと思います。なぜなら部活だと先輩は受験生なので部活動のことを支えないといけなく、後輩ができて部活動内容を教えないといけなくからです。部活動以外だと、野外活動や、トライやる・ウィークなどで1・3年生より校外に出ることが多くなり楽しみです。しかし、がその分、地域の方やお世話になる方に自分たちの姿を見られて、烏帽子中学校のイメージがつくので1・3年生のためにも迷惑をかけず行動しないといけなくので不安です。しかし、今の3年生の先輩方は私たちが1年生だったとき部活で去年3年生だった先輩方を見て大変そうだったらサポートしていたり、私たちに部活動の内容を丁寧に教えてくれたりしました。まだ部活に入って間もない私は、とても安心しました。

次は、私たちが先輩を支えて後輩を引っ張らないといけなくて、上手くいか不安と緊張で今すぐにでも押しつぶされそうです。しかし、リラックスして自分なりに自分のペースで先輩方に

は「頼れる後輩」、一年生からは「自分もこんな先輩になりたい!」と思ってもらえるようにみんな一緒に今までの先輩方を目指していきたいと思います。(3組)

2年生になって僕は、交友関係と学習面について見直したいと思いました。理由は、去年の交友関係は、仲の良い友達も男子だったら、たくさんいたけれど、まだ仲良くなれていない人や、仲が良いからという理由で、ずっと授業中も話していたので見直したいと思いました。これからは、授業中と休み時間のけじめをしっかりとつけていきたいです。また、学習面では平日と休日の勉強時間を増やしたいです。平日は1日30分以上勉強できるようにしたいです。理由は、授業内容を理解せずに受けることになり、それだと後にたくさんの時間を復習に費やさないといけなくなり、テスト勉強も追いつかなくなるからです。勉強内容は1回覚えてから問題を解いて、また間違えた部分をできるように自分の勉強の意識も変えていけるようにします。分からないところは先生や友達に聞いて、分からないまま帰らないようにし、家で復習を頑張っていきたいです。(3組)



「また勉強か…」

僕は2年生になった。小学生の時から勉強は嫌いだ。勉強は必須と言われてきたけど、全然やる気もないし、時間の無駄と思っていた僕は、強引にやらされていた。自分の中では、ある固定観念を持っていた。スポーツを小さい頃からやっていた僕は、スポーツがやっぱり一番というわくわくした印象があり、「勉強しなくてもスポーツで何とかできる」という考えが、小学2年生でできた。しかし、3年生のとき、ある先生と出会い僕は変わった。そこで、自分が持っていた考えをたった一言で変えられた。「勉強を好きになれ」だった。最初は何言っているのだろう?と思ったが、どうしてもあの先生の一言が頭のどこかに残っていた。家でも考えた。よく考えた。その時、良い方法が見つかった。それは、先生に聞くこと。ただそれしか浮かばなかった。翌日、僕は聞いた。すると、しっかり紙を使って優しく教えてくれた。僕はいまだに覚えている。『勉強=しんどい』と思う人が多い。けれど、しんどいのは苦手だからではないか。『勉強=苦手』を『勉強=得意』にすればいい。得意にするために必ず必要なのは、「勉強を好きになる」ことだ。好きなら楽しめる。逆に、嫌いならば楽しくない。だから、苦手になってしまうのではなく、まず、苦手な勉強を好きになり、楽しくすることが得意になる一番の近道だと思う。

その言葉が胸の奥深くまで刺さった。「そうか、嫌いを好きになることで楽しく勉強できるんだ。」と気づいた僕は、そこから人生が変わった。僕はその先生を恩人だと思っている。その僕が今に至っている。僕は学校が好きになっているところだ。これからも頑張っていこうと前向きになったのだ。

「勉強は楽しいな」(4組)



2年生になって後輩もできて、勉強も難しくなると思うので、1年生のときよりも努力することを頑張らないといけないと思います。1年生の時は、中学生になったばかりで慣れないことも多く、先輩方を見るだけだったけれど、2年生になると一年生の後輩ができ、自分たちが見られるようになるので、1年生に「あんな先輩になりたい」と思ってもらえるようになりたいです。だから、勉強面でも生活面も、もちろん部活でも2年生として、たくさん努力し、1年生を良い方向に引っ張っていけるように、頑張りたいです。

勉強では、テストで悔いが残らないように毎日コツコツ勉強したいと思っています。そして、テスト週間にワークを急いで取り組むと、テスト勉強がしっかりできないので、毎日その日の授業の振り返りをして、ワークを進めていきたいです。

部活では、後輩が入ってくるので、今までとは違って、自分たちが教えてもらうのではなく、自分たちが教えてあげないといけないです。だから、今よりもさらに上手になれるように、1年生が入ってくる前に、たくさん練習したいです。そして、先輩方が私たちに優しく教えてくれたので、自分も先輩方のようになれるよう、たくさん練習して、1年生を教えてあげられるように頑張りたいと思います。生活面では、今までは自分のことしかできなかったけれど、これからは家族の分まで、手伝おうと思いました。何事にも自分から積極的にできたらいいなと思います。

2年生になって、大変なことが増えるかもしれないけれど、頑張ってもよかったなと思える、悔いのない1年間にしたいと思います。(1組)

